

## 活性汚泥の処理作業をサポートする

活性汚泥容量  
指標測定装置 『SVI-708』が話題！

### アナテック・ヤナコ

アナテック・ヤナコ（京都市伏見区下鳥羽平塚町一四五、☎〇七五-六一-一〇〇）が開発・提供する活性汚泥容量指標測定装置「SVI-708」が話題を呼んでいる。

「水と空気を守り続ける京都の会社」として評判の高い同社では、迅速かつ高精度に計測が行える数々の環境計測機器を開発。長年の経験から培った確かな技術・ノウハウから生まれた水質計測器、ガス計測器、ラボ用機器はその優れた性能から国内外を問わず豊富な導入実績を誇っている。

「SVI-708」は、下水処理場や工場などで発生する活性汚泥の処理をサポートする活性汚泥容量指標測定装置である。

活性汚泥を処理する曝気槽の処理効果の低減を防止するためには、水温・pH・DO・SSなど各種測定項目の連続的な監視が必要となるが、同

機はその中でも重要な測定項目とされるMLSS（活性汚泥浮遊物質）、SV値（沈降汚泥沈殿率）が測定できる他、MLS S・SV測定値を演算することでSVI値（活性汚泥容量指標値）の測定も可能にしており、安定した活性汚泥の処理を実現する。

MLSS値は散乱光測定方式（円筒セル使用）で、SV値は面透過光検知方式（1Lメスシリンダー下水試験法に準拠）で測定。さらに、この2つの測定値から自動でSVI値を演算する。測定は実試料による検量線を設定して実施。しかも測定毎に自動ゼロ補正するので精度の高い測定結果が得られる。

### MLSS/SV/SVIの自動計測で日常業務を軽減

を大幅に効率化する。試料の採取は減圧吸引方式で行うので活性汚泥を壊すことなく計量でき

る。測定結果はディスプレイに、①工程数/工程残り時間②濃度（MLSS、SV、SVI）③測定レンジ（MLSS、SV、SVI）測定値異常（V、SVI）表示。また、④前回測定時のデータ⑤時刻—などをわかりやすく表示。また、こうしたデータは印字することも可能である。測定範囲は、MLSS 100~5000mg/L、SV 100~1000%、SVI 100~500。繰返し性は、MLSS±3%P・S以内、SV±0.5%F・S以内、SVI±1%F・S以内となっている。

同製品以外にも同社は、多項目水質計、リン酸イオン計、全りん・全窒素系、アンモニア計、全クロム計など下水道処理施設で利用する水質計測機器を数多くラインナップしている。

<http://yanaco.jp>



SVI-708：前部カバー開放状態⑤